

活動する前に

Q3 活動の注意点・マナーは？

A3

「手段と目的を間違えずに」
「相手の気持ちを尊重」
「約束や秘密の厳守」

○手段と目的を間違えないで

活動が長く続くと、「何のために活動するのか」
「なぜこの活動が必要なのか」という視点がぼやけて
しまいがちです。活動すること自体が目的となってしまう、
本来の目的を見失いかねません。時には自分の活動や参加している
団体の活動を振り返り、問題点などを点検してみましょう。

また、目的が達成されたのなら、新たな課題の解決に取り組むなど、転換を
図る場合もあるかもしれません。

○相手の気持ちを尊重

受け手と送り手がいる場合は、自分の思いだけで行動するのではなく、相手
の気持ちを尊重することが大切です。「してあげる」という押しつけの善意は、
相手にとって非常に迷惑です。相手が何を必要としているか考えながら活動し
なければいけません。

○約束や秘密の厳守

自分の思いではじめた活動として、また、相手がある行動として、責任がと
もありません。相手と相談して決めた活動内容や時間、持ち物・服装等の約束は、
必ず守るようにしましょう。また、活動で知り得た情報や秘密を口外しないこ
とも必ず守らなければなりません。活動が楽しく感じられるのは相手との信頼
関係があるからです。信頼は約束や秘密を守ることによって得られます。

